

### Concept

## 趣旨

車椅子や杖を必要とするなど、主に身体的な理由で海外旅行への思いを断念していた人々。 また、病気の進行と戦いながら、少しでも元気なうちに希望を叶えたいと願う人々。 私たち櫻スタートラベルは、

そのような方々に喜びと感動をお届けするための提案を行いました。 「海外旅行は無理」と諦めるのではなく、「どうすれば行けるか?」を考えようと。

舗装されていない険しい道を進むのが難しいのであれば、その訓練をしよう。 現地で困ったことが起これば、互いにできることを助け合おう。

準備の段階から入念に計画を練り、そして参加者の皆さまの努力と協力のおかげで、 実現困難と考えられていた「車椅子と杖で行く、ウルル・シドニーの旅」を成功させることができたのです。

1

### Outline

## 旅行概要

実施日: 2018年12月18日(火)~23日(日)

出発地: 関西空港・羽田空港

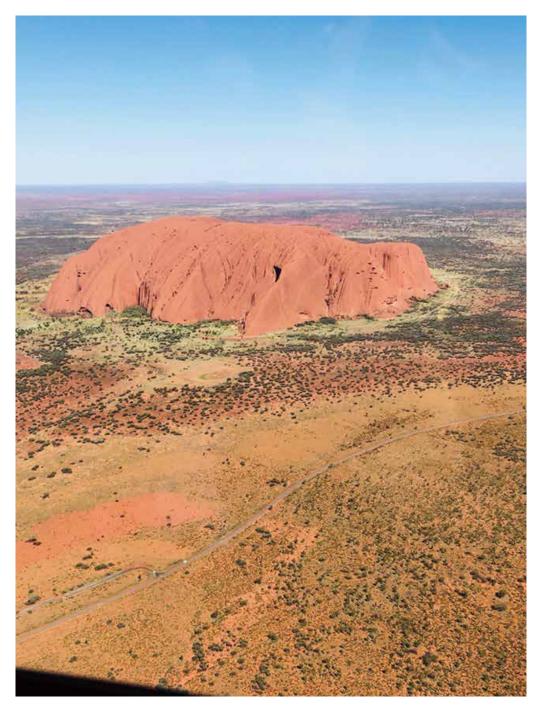
参加者: 10名(障害者4名•健常者6名)

旅の目的地: ウルル(エアーズロック) 2泊

シドニー 2泊

旅行企画手配: 櫻スタートラベル

支援団体: 一般社団法人Travelforward



#### Schedule

## 日程

1日目

それぞれ自宅から電車移動で関西国際空港へ

→ シドニー空港 到着

2日目

シドニー空港から国内線乗り換え(バス移動)

- → エアーズロック空港 → エアーズロックリゾート→ ヘリコプター遊覧飛行
- → ホテルにてディナー → 夜の散歩

3日目

起床 → サンライズを見に展望台へ

- → ホテル出発 → リフトバスでカタジュタ展望台散策へ → カタジュタ展望台散策
- → エアーズロックリゾートにてランチとショッピング
- → ウルルサンセットとディナー → 星空鑑賞

4日目

ウルルサンライズ → 登山 → 下山 → ウルル麓散策

- → エアーズロック空港 → シドニー空港 → シドニーホテル
- → オペラハウス周辺散策 → 海鮮ディナー

5日目

ホテル朝食 → シドニー散策(ハイドパーク・セントメアリー大聖堂)

- → スーパーで買い物 → 昼食 → ホテルヘ → ジェラート店 →シドニー湾クルーズ
- → オイスターバーにてディナー → 部屋で交流会

6日目

ホテル → シドニー空港 → 関西国際空港 → 自宅









#### **About Us**

# 櫻スタートラベルについて Startrave



屋号: 櫻スタートラベル

代表: 櫻井 純

所在地: 大阪市浪速区桜川2-3-30-810

TEL: 090-8572-9032(代)

FAX: 06-7635-5186

メール: sakura.star.info@gmail.com

設立: 2016年11月29日

登録: 大阪府知事登録旅行業 第3-2857号

加盟団体: 一般社団法人全国旅行業協会(ANTA)

協同組合大阪府旅行業協会(OATA)

事業内容: 旅行業法に基づく旅行業(国内及び海外)

障がい者外出支援サポート及びアドバイス 各種疾患・障害理解に関する研修・講演活動等

ユニバーサルデザイン調査

個人・法人を問わず、オーダーメイドでの旅行プランの作成を得意としています。 ご病気や障がい、ご年齢などで配慮が必要な方もお任せください。

櫻スタートラベルは、難病障がい当事者2名で運営している旅行会社です。当事者ならではの視点で、お気持ちに寄り添ったご旅行やお出かけをサポートします。



代表 櫻井純

1987年生まれ。12歳で急性散在性脳脊髄炎を発症。 26歳で10万人に1人程度の割合で発病する慢性炎 症性脱髄性多発神経炎と診断される。

治療のために長期間の入院生活を余儀なくされ、やむなくそれまで務めていた会社を退職。常に治療が必要で、一般就労が難しい状態から社会参加への強い想いを持ち、難病障害当事者が運営する旅行会社を起業。当事者の目線で障害や疾患に配慮する旅行のプランの作成に尽力している。

### Ready

## 事前準備

参加者の方の身体のコンディションや留意点など、一人ひとりのお話をじっくりとヒアリングした上で、 現地の施設調査や、実際にウルルを訪れた状況を想定しての訓練などを行いました。



入院治療中に宿泊・滞在先の手配や行程を企画。 参加者のコンディションを考慮し、バリアフリー設備の有無なども確認。

安全な登山準備とサポートの予行演習のために神戸・六甲山にて合宿を実施。 現地で何をすればいいのか、どこまでできるのかをシミュレーション。



Photo Gallery

旅行風景



1日目







### シドニー空港~エアーズロック遊覧飛行

空港の外では荷物は各自で運搬が必要。

自走式車椅子約10kg、電動式車椅子約30kgを協力して運び出す。

自力歩行が困難なメンバーのために、ウルルを上空から楽しめる遊覧飛行を実施。

### 出国

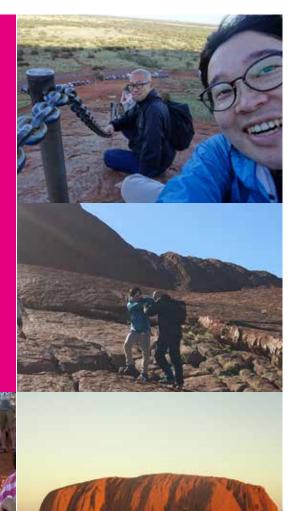
車椅子の操作で手が塞がっても移動できるよう、 車椅子利用者の自宅から同行し、関西国際空港へ。







4日目



### 早朝の展望台~カタジュタ国立公園

サンライズを見るために早朝に展望台まで。 その後、リフト付きバスで移動しカタジュタ国立公園へ。 砂地や急な斜面では車椅子の介助者が不可欠。 ウルルのサンセットポイントまでたどり着くにも同様のサポートが必要となる。





### エアーズロック登山

12月のエアーズロックは風が強いが、幸運にも登山道が開く(写真は8合目にて)。 その後は凹凸の激しい岩肌を、手を借りながら慎重に下山。 ウルル麓は観光地化されており、車椅子でもスムーズに観光が可能。

### 5日目



6日目



### 帰国

リフト付きタクシー大型車でホテルから空港へ向かい、チェックインを済ませ搭乗。 車椅子の預かりは事前に申し込みが必要で、 かつ現場でもスタッフに改めて対応を要請することになる。 そして、それぞれ家族の待つ自宅まで無事に戻ってくることができた。



早朝からシドニーを散策。

ハイドパークやセントメアリー大聖堂を観光したほか、ショッピングも楽しむ。 クルージング後はオイスターバーでディナー。

その後はホテルの部屋にて交流会。様々な困難を乗り越えた旅の充実感を共有。





#### Voice

## 参加者の感想

### 無理だとあきらめていたことにチャレンジしてよかった

これまでは友達や家族と旅行をすると迷惑をかけてはいけないという思いで、1人で待っていたり、また私のためにみんながあきらめてしまうことが多かったと思います。 足が不自由で、山に登ることやヘリコプターにのるということは、無理だと思って、考えもしなかったです。しかし、今回は、エアーズロックに介助してもらいながら登ることが出来ました。さらに空から素晴らしい景色も見渡すことが出来て、本当に幸せでした。病気をしてもあきらめるのではなく、サポートしてくれる仲間がいれば、もっともっと色んな事にチャレンジできると感じました。また旅行に行きたいです。最後になりましたが、寄付してくださった方、企画してくださった方、同行してくださった方に、お礼申し上げます。

### 自分の命があること、ここに立たせてくれたことへの感謝が何度も湧き上がる旅

関空のチェックイン、シドニーのトランジット、いくつかのハードルを仲間の協力と周りの方々の思いやりで乗り越えた。エアーズロック空港に着く頃には、私の心の不安は消え、旅を楽しむことに集中し始めた。更に、自分たちペースが保証された専用バスがそれを強化した。車椅子用リフト、ガイドさんの丁寧な説明、そして、車窓に現れた赤い岩山、都度、皆の歓声があがった。翌日は、朝陽に輝くウルルを拝み、風の谷カタジュタへ。車椅子と杖を脇におき、ゴツゴツした礫岩の斜面を皆で登った。肩を貸しあい、100mくらいは進んだだろうか?流れる汗に、風が心地いい!自分の命があること、ここに立たせてくれた全てに感謝した。こんな気持ちが何度も湧きあがる旅だった。いつもの日々に戻った今も続く躍動と感謝の気持ち。本当にありがとうございました。

#### さまざまな事前準備や手配のおかげで不安が安心に…とても温かい旅行でした

私は今回メンバーでは最高齢で、脚力に重度の障害があり電動車椅子利用をしています。ある日、同じ病気で知り合った櫻井さんからオーストラリア旅行を誘って頂き、「砂漠だし、車椅子だし・・・」と不安がありながらも行くことを決心しました。準備として六甲山登山と顔合わせや大阪で旅行行程の確認打ち合わせ。車椅子目線の航空会社への対応。現地移動手段の対応。準備が大変な様子も含め細かく知らせて頂いて、不安が安心に変わりました。旅行中はそのおかげで全てが快適で楽しく、普段ならあきらめて行けない山の岩肌に触りに行けたり、洞窟の中まで連れて行ってもらえたり、カタジュタのレキ岩を登ったり、多くの手助けを受けて一つひとつが見るだけでは得られない思い出に変わりました。この時、私はもう涙が止まらなかったです。人の心まで手助けして頂ける温かい旅行でした。本当にありがとうございました。

### Message

## メッセージ

私たちは障がいを持つ方のための旅行会社ではありません。 身体の状態や年齢を問わず、 すべてのお客様のご希望をお聞きし、 できる限りのサービスを提供することを心がけています。

### その結果として、

一般的には旅行が困難とされる方にも喜びや感動がお届けできているという自負があります。 今後も、私たち櫻スタートラベルだからこそできることを実現させていきたいと、 強く決意を新たにする今回のツアーでした。